開催日時	平成 29 年 4 月 24 日 (月) 午後 7:00 ~ 午後 8:55					
開催場所	大鶴公民館					
	議員名①	(班長)				
		財津幹雄				
	議員名②					
		嶋﨑健二				
出席議員	議員名③					
(自治会)		井上正一郎				
			氏 名			
	司会	財津幹雄				
	開会挨拶 石井勝誠 大鶴地区振興協議会会長					
	閉会挨拶 井上營吉 同 副会長					
	記録	井上正一郎				
参加人数	23 名 (内訳:男性 22名、女性 1名) アンケート回収 23 名					
	· 19 : 00~	開会				
	①司 会・	①司 会・・・財津議員				
	②開会あいる	②開会あいさつ・・・・石井勝誠 大鶴振興協議会会長				
	③議員自己紹介					
	④平成29年度主要事業の報告を常任委員会ごとに3議員が報告する。					
	⑤次に地元から出されていた項目について、井上議員と財津議員で報告する。					
	⑥出席者かり	ら全般的な質問、意見	を伺う。			
主な						
意 見						
•	Q1 空き家バンクに登録されている空き家で、移住者にはどのような建物に					
要 望	人気力	があるかわかるか。				
•						
回答	空き家バン	ノクに登録されている	建物は様々な物件が登録されている。			
		どの種類の物件に人気があるかという資料は、今手元にないが、いろんな建				
	物を紹介して移住者に見ていただき、それから交渉をしているようだ。					
	Q2 田舎のほうでは、住む人がいなくなって空き家となってしまっており、 周辺住民が困っているのが現状である。空き家バンクに登録するのにも、					
	ての多	れい付り土と休り 切に	苦労している。そのへんはどうなのか。			

開催日時	平成 29 年 4 月 24 日 (月) 午後 7:00 ~午後 8:55					
開催場所	大鶴公民館					
	また、空き家対策だけでなく、日田市全体の調査をして、商店の空き家、 住宅の空き家などいろんな活用に向く空き家対策を行ったほうが良い。					
	日田市内での空き家の現状を調査することで、バンクに登録できるもの、このままでは登録できないもの、修理が必要なもの、危険であり解体が必要なものなどを調査することになっている。					
	Q3 大鶴地区でも何件か空き家バンクに登録している家がある。日田市全体 では何件ぐらいの登録があるのか?					
主な意見・	平成 25 年度調査で日田市全体 1,500 件区ぐらいの登録がある。 また、平成 28 年度で 56 人ほど移住してきている。					
要 望 · 回 答	Q4 日田市への移住支援策としてどんな PR を行っているのか。県外や都会 への PR が必要ではないか。					
	定住促進事業の事業名を説明する。また、ひた暮らし推進室が行っている各種 PR 事業を説明する。					
	Q5 県外からの移住者の年齢構成がわかるか。 詳しく年齢構成は今わからないが、移住者の方々は活力がある。					
	Q6 田舎で暮らしたい方はいるが、田舎では決まり事や町内の行事、部落で の役割が回ってくることが多くて嫌がる人が多いと思うがどうか。					
	移住したい地区によっては、そうした決まり事がある地区もあるので、できるだけ決まりごとのない地区を選ぶ人もいる。					

(5班)

開催日時	平成 29 年 4 月 24 日 (月) 午後 7:00 ~午後 8:55					
開催場所	大鶴公民館					
	Q7 移住者だけでは人口減少は止まらないのではないか。					
	人口減少に歯止めをかけるには、出生率を上げることも必要であるが、これから先は、外国人の流入(移住人口)を受け入れざるを得なくなってきている。 県内でも日田市と佐伯市が人口減少が進んでいる。					
主な意見	Q8 そのような人口減少に歯止めをかけるのには、若い人たちが働ける職場 (企業)を日田市内に増やすことが必要ではないか。女性の働く場所を増やす。女性が日田に残る。女性が日田市内で結婚して子供を産む。つまり女性が残らないと子どもは増えない。 まずは、市内での働く場所の確保と、賃金など(生活面)の改善、安定した職場を作ること、これらが女性が日田に残る要件ではないか。					
意 見 ・ 要 望 ・ 回 答	Q9 住民(特に若い人たち)が日田に残る対策として、大型のショッピングモール等が日田には必要ではないか。高校を卒業しても、日田では遊ぶ所もショッピングをする大きな店もない。だから日田に住みたいけれど、都会に行ってしまう。若者が集まる施設が必要ではないか?					
	Q10 日田市公共交通網形成計画策定事業の 11,178 千円について、これは業者 への委託費用がほとんど聞いたが、これまでいろんな交通対策をしている のでデーターは出来ているのではないか。					
	将来人口の動向調査をしたりして、詳しい日田市内全体の交通体系の調査を業者に委託するものである。					
	Q11 農業の支援策として、営農指導強化事業 7,776 千円の事業があるが、これは個人の農業者事業者にはあまり恩恵がないのではないか。					
	この事業は、農協に委託して営農指導を強化する事業で個人に補助するもの					

ではない、そのほかの補助事業も、農業団体や営農組合などの団体への補助が

主体であり、個人的な補助はあまりない。

	(0 ,,_,
開催日時	平成 29 年 4 月 24 日 (月) 午後 7:00 ~午後 8:55
開催場所	大鶴公民館
	Q12 平成 29 年度の市長の施政方針の中で、9 ページに載せている高齢者の福祉施策について、昨年度も議会報告意見交換会の中で、取り組みの強化をお願いしたが、何も進展がなかった。今年度は特に高齢者の福祉施策について、重点的に取り組んでほしい。
	議会としても、29年度の市長の施策についてチェックしていく。
主 な 意 見	Q13 公共交通対策については、特に大鶴だけではないが、山間部の田舎では、 自家用車の運転が欠かせない交通の足となっている。現在高齢者の免許証 の返納が勧められているが、交通機関のない地区や、高齢者等が多い山間 部では、自家用車の運転は欠かせないものである。なんとかならないだろ うか。
要 望 • 回 答	Q14 東峰村では、免許証の返納に合わせてタクシーチケットの交付を行っていると聞いたが、日田市では何か対策を行っているのか。また、福岡市のある団地では、その団地に行政が車の貸し出しやガソリン代を支給し、団地内でのボランティアが、高齢者を車で病院や買い物に連れていく施策を行っていると聞いた。
	日田市では、免許証返納に対する施策は行っていない。今回の公共交通形成 計画策定事業で、日田市全体での高齢者の実態などを調査しながら、新しい交 通体系を策定していくものである。
	Q15 中学生の学力向上対策として、学びアップ事業を取り組んでいるが、日田市内の中学生の学力は低下しているのか。また、公民館事業の中で、学校の先生の OB 方々にお願いして、学力向上の事業を行うという話があったが、その事業とはどう違うのか。
	担当課に確認してお答えする

開催日時	平成 29 年 4 月 24 日 (月) 午後 7:00 ~午後 8:55				
開催場所	大鶴公民館				
	Q16 小・中学校の校長について尋ねます、大明小中学校などの小中一貫を ついては、校長は一人でもよいのではないか。 校長一人のほうが人件費が安くなるのではないか。県内の小中学校の 貫校では校長が一人の学校もあるようだが。				
	担当課に確認してお答えします。				
主意・要・回な見・望・答	Q17 君迫から田代に抜ける市道については、30年前から約束事でお願いして少しずつ舗装の整備を行っていただいている。平成27年度65m、平成28年度に63mと少しずつやってきているが、まだまだ多く残っている。約束事を早くやってもらいたい。市道の側溝の掃除は、自分が毎年一人で全部やっている。 (大鶴本町自治会長) 土木課には毎年お願いに伺っており、少しずつではあるが舗装をしていたただいている。				
	担当課に要望として伝えておきます。				